

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 17 年 10 月 20 日 (2005.10.20)

【公開番号】特開 2004-47842 (P2004-47842A)  
 【公開日】平成 16 年 2 月 12 日 (2004.2.12)  
 【年通号数】公開・登録公報 2004-006  
 【出願番号】特願 2002-204977 (P2002-204977)  
 【国際特許分類第 7 版】

H 0 5 K     7/20  
 G 0 6 F     1/20  
 H 0 1 L     23/473

【 F I 】

H 0 5 K	7/20	M
H 0 5 K	7/20	H
H 0 5 K	7/20	P
H 0 1 L	23/46	Z
G 0 6 F	1/00	3 6 0 C
G 0 6 F	1/00	3 6 0 A

【手続補正書】  
 【提出日】平成 17 年 6 月 27 日 (2005.6.27)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

筐体内に取付けられた発熱素子と、この発熱素子に接続された受熱ジャケットと、外界との熱交換を行う第 1 の熱交換器と、前記受熱ジャケットに液媒体を供給する液駆動手段とを備え、前記受熱手段、前記第 1 の熱交換器、駆動手段を接続する配管の一部が樹脂製のフレキシブルチューブとなった電子機器の冷却装置において、

前記配管の一部に第 2 の熱交換器とイオン交換器を設け、このイオン交換器は予め腐食抑制剤を吸着させたものであって、前記液媒体は腐食抑制剤が添加されていることを特徴とする電子機器の冷却装置。

【請求項 2】

請求項 1 記載の電子機器の冷却装置において、

前記受熱ジャケットがアルミニウム系材料、前記第 2 の熱交換器が銅系材料、前記液媒体が不凍液若しくは純水であって、この液媒体に銅系材料用の腐食抑制剤が添加されていることを特徴とする電子機器の冷却装置。

【請求項 3】

第 1 の筐体内に取付けられた発熱素子と、この発熱素子に接続され前記第 1 の筐体内に取付けられた受熱ジャケットと、前記第 1 の筐体に回転支持された第 2 の筐体と、この第 2 の筐体内に取付けられ外界との熱交換を行う第 1 の熱交換器と、前記受熱ジャケットに液媒体を供給する液駆動手段とを備え、前記受熱手段、前記第 1 の熱交換器、駆動手段を接続する配管の一部が樹脂製のフレキシブルチューブとなった電子機器の冷却装置において、前記配管の一部に第 2 の熱交換器とイオン交換器を設け、前記第 2 の筐体は前記第 2 の筐体内に収納され、前記イオン交換器は前記第 2 の筐体内に収納されたことを特徴とする電子機器の冷却装置。

**【請求項 4】**

請求項 3 記載の電子機器の冷却装置において、

前記第 2 の熱交換器はファンによって冷却されることを特徴とする電子機器の冷却装置

。

**【請求項 5】**

請求項 4 記載の電子機器の冷却装置において、

前記イオン交換器は予め腐食抑制剤を吸着させたものであって、前記液媒体は腐食抑制剤が添加されていることを特徴とする電子機器の冷却装置。

**【請求項 6】**

請求項 4 記載の電子機器の冷却装置において、

前記第 2 の筐体には液晶パネルからなる表示装置が設けられ、前記イオン交換器は前記液晶パネルの裏面に設けられていることを特徴とする電子機器の冷却装置。